

第110回島田大祭の開催について

1 概要

島田大祭は、元禄八年（1695年）に始まって以来、本年度で第110回目を数えます。さらびやかな丸帯を木太刀に下げた大奴が有名で「帯まつり」の別名でも知られ、日本三奇祭のひとつに数えられています。他にも、各街で奉納される屋台踊りや地踊り、鹿島踊りなど見どころは尽きません。三日間かけて町を練り歩く豪華絢爛な大名行列は元禄大絵巻といわれ、全国から観光客が押し寄せる島田市最大の観光イベントです。

主催 島田大祭保存振興会
共催 (一社) 島田市観光協会
後援 島田市

2 開催日 令和4年10月8日（土）、9日（日）、10日（月・祝）

3 会場 島田市本通り及びその周辺

4 各街の余興（出し物）の見どころ

(1) 大名行列

- ・静岡県指定無形民俗文化財「島田帯祭の大名行列」。
- ・豪華な丸帯を木太刀に下げた大奴や重さ30kgを越す大槍「大鳥毛」などが有名です。

(2) 鹿島踊

- ・静岡県指定無形民俗文化財「島田鹿島踊」。
- ・疫病退散を願って踊ったのが始まりと伝えられています。今年はコロナ禍の終息を願って子供たちが踊りを披露します。

(3) 長唄屋台踊

- ・東西一流の芸人の演奏とともに、3歳から8歳位の各街で選ばれた踊子が、屋台を舞台に奉納踊りを披露します。

5 注目行事

(1) 中日（9日）の「本陣入り」

本陣入りは、江戸時代の参勤交代のおり、諸大名が宿所とした地方の名家へ殿様が入る様子を再現したものです。通常は最終日の夜にのみ行われる行事ですが、今年は9日にも市役所近くを会場として行います。今回は本陣入りだけでなく、鹿島踊と猿田彦を加えたこれまでにない見ごたえのあるものとなる予定です。

(2) 最終日（10日）の「御渡り」

大井神社の神様が、かつて社があった御仮屋の「御旅所」まで里帰りすることを「御渡り」と呼んでいます。その行列は、大奴で有名な大名行列を先頭に神輿渡御行列、鹿島踊、屋台と続き、全長は1キロ以上にもなります。

御渡りの行列は、午前8時に大井神社を出発し、午前11時50分に御旅所に到着、午後4時30分に大井神社に帰着予定です。

※上記はすべて行列の先頭の行進時間です。

- 6 問い合わせ 島田大祭保存振興会事務局 TEL：0547-35-3111
一般社団法人島田市観光協会 TEL：0547-46-2844
島田市観光文化部観光課 杉山・大畑 TEL：0547-36-7163